



緑の募金事業



各地で展開される緑化活動

長野県緑の基金は、県民の皆さんによる森林整備、緑化等を推進するため「緑の募金地区交付金」を交付しています。各地域では緑の募金を活用し、さまざまな緑化活動を行っています。県内11地域で行われた事業の一部を紹介します。

佐久



佐久地区森林祭を御代田町浅間しゃくなげ公園で開催。整備された公園いっぱいに花を咲かせるために、200株のアズマシャクナゲを地域の皆さんと植栽しました。

諏訪



7月、諏訪市北真志野の火とぼし山で、湖南小学校5年生と山林団体が協力して、ヤマボウシ、ハナモモ、サルスベリなど50本を大きく育つように願いを込めながら植樹しました。

上小



毎年植樹祭に合わせて、地域の青竹と炭を活用した青竹バームクーヘンづくりをみどりの少年団や親子連れの参加者らが行っています。地域の名物イベントとして定着し、先輩から後輩に伝えられ、これを楽しみに参加する子どもたちもいるようです。

木曽



夏休みの暑い一日、王滝村の松原スポーツ公園で、木曽地区みどりの少年団交流集会を開催し、11団約100名が参加しました。団員は、日頃の活動発表やクイズラリー、木工体験などを通して、木曽の森林林業を学びました。

上伊那



伊那市生涯学习センターにおいて、「もりもり上伊那 山の感謝祭」を約200名の参加を得て開催しました。木材利用推進のための講演会や林業労働者の表彰、各種展示、緑の募金のPR等により、林業振興・緑化推進への普及啓発を行いました。

下伊那



6月に壳木村みどりの少年団員14名が、南信州広域公園で平成30年度県植樹祭の植樹会場の補植作業を行いました。参加した団員は、将来の豊かな森林を心に描きながら、ヒノキの苗木を一本一本丁寧に植樹しました。

松本



生坂村高津屋森林公園で、天皇陛下のご即位を記念した植樹を行いました。県や村、地元の関係者が令和の時代の平穡を願い、ハナモモの苗木3本を植えました。

須高



小布施町では、住民参加の緑化運動を進めため、例年、ハナカイドウ、モクレン、ヒメコブシなどの苗木の頒布会を実施しています。一人一人が樹木を大切に育てるこことにより、緑あふれる魅力的なまちづくりを進めています。



大・北



大町市青木湖畔で白馬南小学校5年生のキャンプが行われました。参加者は森の中でさまざまな形の樹木の葉を拾い集めて持ち寄りました。一枚一枚分類して名前調べを行い、森林環境への理解を深めました。

長・野



7月、飯綱町牟礼駅付近で、地域の皆さん方が集まり桜の苗木を植樹しました。
24名の参加者は、晴れ渡る青空の下、汗を流し交流を深めました。
桜の木の下で、お花見できる日を楽しみにしています。

北・信



そばと緑化活動を通じて地域振興に取り組む飯山そば振興研究会。

今年は、天皇陛下のご即位を記念して、瑞穂地区に「梓」及び「ハマナス」を植樹しました。



「みどりの少年団」次代を担う子どもたちの育成

みどりの少年団は、次代を担う子どもたちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。長野県緑の基金では、県みどりの少年団連盟（177団、22,283人 令和2年4月1日現在）を通じて少年団活動を支援しています。



「みんなで花を育てよう！緑の未来を育てよう！」～富士見小学校みどりの少年団の仲間たち～



令和元年度 緑の募金公募事業の概要



小谷小学校

小 谷小学校PTA（小谷村）

「大好きな小谷の自然を次世代へ残そう」を合言葉に、2～3年生が山野草の苗植えや池、小川の整備、公園の芝の手入れ、全校生徒が花壇の苗植えを行いました。



お ひさま探検隊（松本市）

未就園児の親子を対象に、梓川ふるさと公園内の森を散策。身近な自然で遊ぶことの楽しさや子どもと一緒に過ごす際の注意点などを伝えました。葉っぱや木を使った遊びやクラフト作りを通じて、子どもたちは自然に親しむことができました。



長野県緑の基金では、県民の皆様からいただいた緑の募りや人と自然がつながる社会づくりを応援しています。森林づくり団体等が緑化活動、地域づくり、イベントなどました。

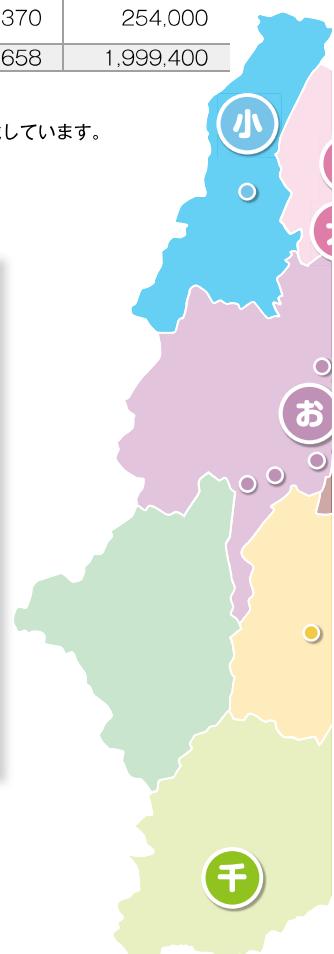
事業区分	活動団体数	参加人数	支援額（円）
環境緑化、森林整備	10	1,488	1,164,705
次世代育成	5	2,800	580,695
緑化推進イベント等	2	370	254,000
計	17	4,658	1,999,400

※事業区分：主な事業内容で区分

◎17の実施団体のうち一部の団体の活動を掲載しています。

大 岡森林塾（長野市）

竹林整備で伐採した竹を活用して、竹炭づくりに取り組みました。多孔性に富む竹炭は土壤改良や調湿材としての用途があるので、今後は道の駅での販売などを視野に入れて、竹林整備を推進していきたいと思います。



千 代小学校PTA（飯田市）

飯田市千代地区は昔、炭焼きが大変盛んでした。この伝統を子どもたちに伝えようと、千代小学校では、5年生が炭焼きを体験しました。焼いた炭で食べる五平餅は、子どもたちにとって最高の思い出。この体験を通して、木のありがたみと昔の人の知恵を学ぶことができました。

